

今回の取材でお会いした3人の医師の方々、藤沢町の佐藤院長、瀬棚町の村上所長、札幌医大の山本教授に共通するのは、住民と地域に直接向き合う強い姿勢でした。地域が求める医療、福祉サービスを、既存の枠組みにこだわることなく住民の目線に合わせて実践していくことの大切さは、すべての地域政策に通じるものです。地域医療の分野での新たな挑戦が、魅力あるまちづくりへの大きな契機になる予感がします。(S.K.)

今回の取材を通じて、地域医療の問題は医療関係者や行政だけが考えるものでなく、住民一人ひとりも真摯に向き合っていくことが必要であることを強く感じました。保健・医療・福祉の分野は制度が複雑な上、改正も多く、なかなか理解しにくいという課題はありますが、私たちが真剣に考えていく姿勢が求められているように思います。(M.S)

● マルシエノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方を考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)

● 表紙の切り絵作家
三苦 麻由子

東京都出身。武蔵野美術短大卒業後、広告代理店勤務などを経てフリーに。'94年札幌へ。みとままゆこのペンネームで、水彩、ペン、墨絵、切り絵など、さまざまなタッチでジャンルにこだわらず活躍中。本誌の表紙は、本号テーマ・イメージによるオリジナル作品。

● 「マルシエ:marché」とはフランス語で市場のこと、同音の「マルシエ:marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド:nord=北)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシエノルド」(年二回、九・三月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

● 理解を深めるために……

Books

※インタビュー

『医療における人間学の探求』
山本和利著/ (株) ゆみる出版

※レポート

『医師・歯科医師・薬剤師調査』
厚生労働省大臣官房統計情報部

『北海道広域医療情報網高度化調査報告書』
国土交通省北海道開発局

『北海道広域医療情報ネットワークシステム実証事業調査報告書』
国土交通省北海道開発局

※地域事例1 奈井江町

『北海道を事例とした地域保健医療 総合システム構築をめざして』
田邊達三編・著/ 薬業時報社

※地域事例2 瀬棚町

『朝日新聞』医療ルネッサンス (2005年3月15日~19日)

※地域事例3 岩手県藤沢町

『希望のケルン 自治の中に自治を求めた藤沢町の軌跡』
大久保圭二著/ ぎょうせい

※地域事例4

北海道ドクターヘリ運航調整研究会、各種活動報告書

※その他

『入門 医療経済学』
柿原浩明著/ 日本評論社

『2005年度 医事関連法の完全知識』
安藤秀雄著/ 医学通信社

『北海道新聞』再生地域医療 (2004年1月1日~12月27日)